

「稲むらの火の館」は
たいへんです!!

「稲むらの火の館」は最近たいへんなことになっています。平成26年度がはじまって、既に4ヶ月になりますが、この間に来館された人は約1万人になります。年度当初は、研修を計画する時期のため、例年来館者は少ないのです。



それなのに1万人とは、多いと思います。

小中学生等はもちろん、団体客の皆様も真剣に見学されています。

それよりも驚かされるのは、大学等の専門家、研究者の多いことです。東北学院大学、大東文化大学、御茶ノ水女子大学、関西大学、四天王寺大学、和歌山大学、神戸大学等々こちらで分かっているだけでもこれだけあるのです。それぞれ、その研究者が自分の研究のために来られるのかも知れませんが、うれしいことです。また、政府の高級官僚の方も来られました。津波防災が、わが国の課題の一つではありますが、それにしてもすごいことですね。

広川町の防災施設



切り絵展がはじまりました

耐久大学切り絵専科の皆様9人による切り絵展がはじまりました。きれいな花の花びらが一枚一枚きれいに並んでいます。又、地元広川町の名所も細かく切られています。

「やかた」へご来館されるお客様もこれら見事な作品に見入っています。

先日、来られたアメリカの学校の先生方も熱心にみていましたが、その内の何人かはおみやげに欲しいと言い出しまして、売って欲しいという話もでていました。

皆様もこの切り絵展を、一度見にお越しください。期間は8月末までです。

~~~~~

《お客さまの声》

これ、切り絵？ うわあ、細かいわー いやー、すごいわー はあー…

あれっ、これは細かい中に

キラキラが 入っているよ!!

きれいやわー。

居間に飾ったら ストレスも

スーツと 消えるよ はあ。ええなー

(ボソッと) 欲しいわー。

(近隣から来られたような女性)

ミュージカル「稲ムラの火」公演

8月27日和歌山市民会館で公演されます 観覧希望者は、「やかた」へお問い合わせください。先着1,000名入場無料。

**安政元年海嘯の実況**

**〔やかたへのメール〕**

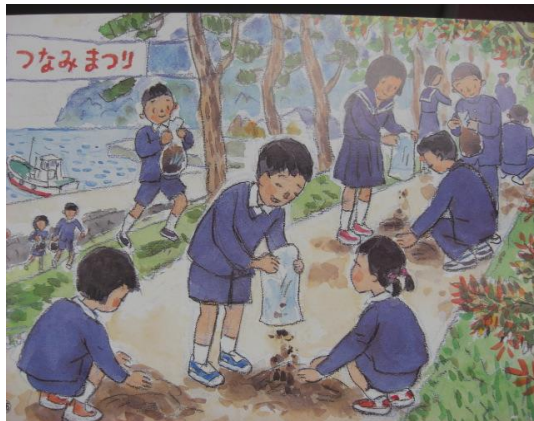
濱口梧陵手記

朝来振動再三に及び、且つ西南方に当りて地響きすること数回、為めに流民は神気を休むるに違なく、人心動揺して百事緒につくを得ず。故にこの際専ら人心慰励に奔走し、傍ら炊事を督す。本夕藩吏某来り該窮民賑濟の事に及ぶ。又救米下付の願書を起草す。この夜始めて高めて非常番を置き、明日の部署を定め、次いで暁に至る。

1、昨日、お電話を差し上げましたNHKの〇〇と申します。その節は「津浪祭」に関し、ご対応ありがとうございました。一番新しい「津浪祭」の画像をお借りできないかという件のご相談でございます。現在、我々は宮城県気仙沼市の課題と取り組みを中心に「東日本大震災の記憶や教訓をどう後世に伝えていくか」というテーマで取材を進めております。そこで、後世に災害について伝える1つの方法として、「津浪祭」のご紹介をさせて頂ければ幸いです。放送予定日は、8月24日(日)午前10:00～ 11:53の「明日へ 支えあおう復興サポート」です。



(写真提供・岩手県田野畑村)



七日、町内を普く巡視するに、被害最も甚しきは前日視察を遂げたる西の町と浜町なれど、中町田町の街路においても往々流失家屋を発見せり。而して流失せざるものと雖も概ね大破ならざるなく、処々に木材或は漁舟の道路を塞げるあり。以って当時波濤の如何に激烈なりしかを察すべし。この日も人心の動揺は尚依然として静まらず、これに加うるに海嘯再襲の流言を以ってす。この時に当って平日剛勇をもって誇る者も怯懦となり、慳貪なる者も寡欲となり、ただ目前の天災を嘆ずるのみにして、災後の処理に着手する事を知らず。余はこの間にありて東奔西走、或は諭し或は励ますこと前日の如し。然れども利に敏き輩は漸く我に帰り、流失を盗む者ありとの風説を耳にしたるより、警保として村の要路に張番を設けたるも、微震ある毎に番人の逃れ帰るには殆んど困却せり。 (つづく)

2、大阪大学適塾記念センターの〇〇と申します。過日は、適塾にて、濱口儀兵衛宛緒方洪庵書状の情報をお寄せいただきありがとうございました。この度コピーを頂戴しました書状は、洪庵の書状をまとめた「緒方洪庵のてがみ その四」にて写真と翻刻・解説を拝見していました。

＜稲むらの火の館の紹介＞

濱口梧陵記念館／津波防災教育センター

〒643-0071 住所 広川町広671

TEL：0737-64-1760／FAX：0737-64-1761

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano/hi/>

\*開館時間：午前10時～午後5時（受付終了4時）

\*休館日：月曜日・火曜日（祝日開館）

年末年始（12/29～1/4）

\*記念館だけの入場は無料です。

「私は随分えらい人にも会ったけれど、梧陵さんの様な人格の高い人は滅多に見たことがない。」

(三宅 秀\*\*\*梧陵さんの終生の友、三宅昆齋の子)